

3章 直接観察の基本的な流れについて学ぼう！

この章では、直接観察の実践と記録に関する基本事項について解説します。
(難易度 **)

- 3-1 直接観察の目的
- 3-2 実際
- 3-3 集計
- 3-4 フィードバック方法

3-1 直接観察の目的

1. 医療従事者の手指衛生遵守状況評価のための最も有効な指標であり、同時に、手指衛生手技の質的な評価（正確性）を行う。
2. 遵守率のデータをもとに、手指衛生改善戦略を計画立案する。
3. 医療従事者の手指衛生の理解を向上し、促進する。（パフォーマンスフィードバック）
4. 遵守率と、手指衛生改善戦略のアウトカム指標である医療関連感染発生との相関を見ることができる。

3-2 実際

1. 開始前の準備

- 1) 観察の期間と範囲を決定する。
 - ・理由（なぜ）
 - ・実施場所
 - ・対象（誰）
- 2) 観察フォームを準備し、記載方法を定める。
- 3) 遵守率の算出方法を定める。
- 4) フィードバック方法を定める。
- 5) 観察対象の部門責任者へ通知する。



2. 観察者の準備

- 1) 観察対象の医療従事者と患者に自己紹介および直接観察の説明をする。
(状況により、必ずしも上記の全てが必要ないケースもある)
- 2) ポイントオブケアに近い位置に立つ。
(患者と直接接触する医療従事者によるケアの場面を観察する)
- 3) 観察フォームの上部（ヘッダー）部分の記載を済ませておく。
- 4) 観察開始時間を確認する。

観察フォームの記録：ヘッダー

年		月		日		病棟		観察者		セッション番号		P	
1回の観察セッションは20±10分、職員個人の遵守率計測のために同時に観察するのは3名まで、が推奨されています。 看護師/看護補助者/医師/その他の職種 といった形で、個人ではなく職種毎で集計する場合は観察対象人数に制限はありません。 本フォームには、3名まで、もしくは 3職種までを1枚に記録できます。													
職種/名前	機会	手指衛生の5つの瞬間 (適応)	実施状況	職種/名前	機会	手指衛生の5つの瞬間 (適応)	実施状況	職種/名前	機会	手指衛生の5つの瞬間 (適応)	実施状況		
	1	<input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	<input type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input type="checkbox"/> 未実施 ○この時 手袋着		1	<input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	<input type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input type="checkbox"/> 未実施 ○この時 手袋着		1	<input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	<input type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input type="checkbox"/> 未実施 ○この時 手袋着		

- ・ ヘッダーに記入することにより、いつ、どこで（年月日、観察時間、場所）観察をしたのかを正確に整理でき、データの分類、記録が可能となる。
- ・ 観察する前にヘッダーを記入し、観察後はデータを補完し、チェックする。
- ・ 観察時間およびページ数は、集計時に記入してもよい。

留意点

- ・ 観察時間（セッション時間）：実施時間を計算するために番号と時間 **開始時間と終了時間** を記録する。
- ・ 観察する部署（例：外科病棟、内科外来等）毎、1回の観察セッション毎に番号をふり、 **セッション番号** に記載する。このセッション番号は、計算フォームでも使用される。
- ・ 1回の観察セッションで複数の観察フォームを使用する場合は、セッション番号の横 **P** へページ番号を記載する。

最近は、こういったフォームを使わなくても、電子カルテシステムとか、iPad®のアプリとか、各種電子機器でも「5つの瞬間」の直接観察の記録ができるようになってきているよね。便利なものはどんどんつかって集計の手間を省くのも大切だともうよ。



3. 観察のルール

- 1) データは匿名で収集することを推奨
- 2) 同時に複数者を観察する場合は、最大3人までとする
- 3) 観察結果を用いて職員の管理的評価にするべきではない
- 4) 観察結果は個人への教育目的として用いることができる
- 5) 手指衛生の理解と推進のためには可能な限り観察結果を観察対象者(または現場の適切な担当者)に直接提示する→即時 (パフォーマンス) フィードバック

フィードバック用紙



即時フィードバックは、組織文化や観察対象者との信頼関係構築につながるような態度で意見交換を行いましょう。

現場の理解度や、遵守率向上を妨げている困りごとなども具体的に知ることができる、絶好のチャンスです！

「ダメだし」ではなく、お互いにwin-winになるような即時フィードバックにできるよう、ここがけていきましょう。

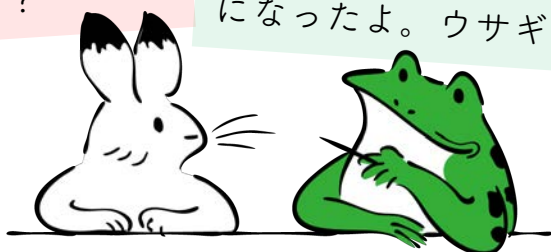
あーそうだね。フィードバック、って必ず相手が必要なものだからね。直接観察をするなら、即時フィードバックを、誰が、いつ、どのようにうけるのか、あらかじめきちんと院内で共通認識をもっていた方がいいよ。

いろいろなやり方があると思うけど、うちでは看護部長室に相談して、即時フィードバックを受ける人を全病棟統一で決めてもらったよ。基本的には指導力のある人①師長②副師長(主任)③その日のチームリーダーのいずれかが「直接観察のフィードバックを受ける」ことになっているんだ。この人から必要に応じ、「観察対象者」に個別指導してもらっているよ。このルールが決まってからは、必ず観察後に①～③の誰かにフィードバックしてから帰れるようになったよ。ウサギさんもがんばって！

観察はしたけど、結局その場で即時フィードバックできずに、帰ってきてしまうことってない？

患者さんの目の前で「あなた今消毒してませんでしたね」とか言えないし…みんな忙しそうで、イマイチ、いつ、だれに、どう伝えたらいいかわからなくて…話しかける勇気がだせないというか…

かえるさんはいつも、即時フィードバックできてる？ どうしてる？



4. 観察時間と観察「機会数」について

- 1) 1回の観察セッションの観察時間は20分 (±10分)を推奨
- 2) 観察期間(集計する期間：4月～6月、年度前半、等) および観察単位(集計する範囲：内科病棟、ICU、等) あたり 200機会



手指衛生テクニカルリファレンスマニュアルにある「観察期間および観察単位あたり200機会が必要である。」という記載は、毎回、観察に行く度に、200機会みなきゃいけない！ってことではないんだね。いや～むりだよ…ってずっと思ってたけどさ。

1回の観察セッションは20±10分が推奨されているからね。1分で10機会を20分間観察し続けるなんて、現実的にできるわけないよね。

直接観察によってホーン効果が生じ、真の遵守率よりも高い遵守率が測定される、っていうのはよく知られているよね。1回の観察でまとめて200機会を記録しようと長時間観察していたら、ホーン効果による観察バイアスが大きくなってしまふよ。このバイアスが最小限になるよう制御し、真の遵守率に近い値を測定できるようにするためには、観察時間20分 (±10分) を守ることが大切だよ。ガイドラインには書いてないけど、カエルは1回の観察で20～30機会くらい観察するようにしているよ。



ちなみに、観察時間とは、手指衛生の観察が行われる時間のことで、1人を20分 (±10分) 観察し続けるという意味ではないからね。

参考：観察機会数・頻度に関する海外の国家プログラムや最近の文献

□アメリカ (Leap Frog)
毎月 1部署あたり 100～200 機会

□オーストラリア (National HH initiative)
年に3回 急性期病床数毎に設定 右表参照 →

病床数	機会数
401～	2450
301～400	2144
201～300	1750
151～200	800
100～150	600
51～100	200
25～50	100
～24	50

「毎月 1部署あたり 50機会以上」

Reese, Sara M. et al. Right-sizing expectations for hand hygiene observation collection. *AJIC* 2025(53), 175 - 180

「1職員あたり 5機会以上」

Park, Se Y. et al. Appropriate number of observations for determining hand hygiene compliance among healthcare workers. *ARIC* 2021(10), 167

2) 観察結果のチェック方法

- 四角マーク□：複数のチェックができる。一つの機会に複数の手指衛生の瞬間が該当する場合は、すべてにチェックをつける。
- 丸印○（未実施）：手指衛生行動（手指消毒または手洗い）が実施されなかった場合にチェックする。手指衛生が実施されず、かつその時に手袋が装着されていた場合は「この時手袋装着」にチェックをつける。

【留意点】

手指衛生が必要な機会ではないのに実施された手指衛生は、記録しない。

3) 観察結果のチェック例

機会	手指衛生の5つの瞬間	実施状況
1	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	<input type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input checked="" type="checkbox"/> 未実施 <input type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋装着

一つのボックス（手指衛生が必要な機会）に、実施された手指衛生の瞬間すべてと手指衛生行動を記録する。最大4種類の「手指衛生の瞬間」が同時に1つの機会に発生する場合がある。

機会	手指衛生の5つの瞬間	実施状況
1	<input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	<input checked="" type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input type="radio"/> 未実施 <input type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋装着

4の瞬間（患者に触れた後）と5の瞬間（患者周囲環境に触れた後）は、同一の機会に生じないため、このような記録は行わない。

機会	手指衛生の5つの瞬間	実施状況
1	<input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	<input type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input type="radio"/> 未実施 <input checked="" type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋装着

手指衛生が必要な機会に手指衛生が実施されず、手袋を装着したままの場合は、「この時手袋装着」にチェックを行う（「未実施」にチェックは不要）。

3-3 集計

1. 手指衛生遵守率の算出

$$\text{遵守率(\%)} = \frac{\text{実施された手指衛生行動}}{\text{手指衛生が必要な機会}} \times 100$$

手指衛生遵守率は、「手指衛生が必要な機会」の数が分母、「実施された手指衛生行動」が分子となり、100をかけて%で算出する。手指衛生が必要な機会が不明な場合は、分母や分子に含めない。

職種/名前	看護師
機会	手指衛生の5つの瞬間
1	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後
2	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後
3	<input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後

この場合は、「手指衛生が必要な機会」が3、「実施された手指衛生行動」は3、「遵守率」は100%となる。

$$\frac{\text{実施された手指衛生行動 } 3}{\text{手指衛生が必要な機会 } 3} \times 100 = 100\%$$

分母

分子

2. 職種別の遵守率算出

職種間での比較やターゲットとする職種へのフィードバック、介入ができる。

職種/名前	医師	看護師
機会	手指衛生の5つの瞬間	手指衛生の5つの瞬間
1	<input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	<input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後
2	<input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後
3	<input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	<input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後

	必要な機会数	手指衛生行動数	計算式	遵守率
医師	3	1	1/3×100	33%
看護師	3	2	2/3×100	66%
全体	6	3	3/6×100	50%

この場合は、医師の「手指衛生が必要な機会」が3、「実施された手指衛生行動」は1、「遵守率」は33%となる。看護師の「手指衛生が必要な機会」が3、「実施された手指衛生行動」は2、「遵守率」は66%となる。

3. 同時発生の場合の遵守率算出

1つの機会に複数の手指衛生の瞬間の同時発生があったとしても、実施された手指衛生行動は1となる。

手指衛生が必要な機会数は？ 1	職種/名前 医師 機会 1 手指衛生の5つの瞬間 <input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 手指消毒 <input checked="" type="checkbox"/> 手洗い <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋着	実施された手指衛生行動数は？ 1
	必要な機会数 1 手指衛生行動数 1 計算式 $1/1 \times 100$ 遵守率 100%		

この場合は、「手指衛生が必要な機会」が1（3の瞬間と4の瞬間の同時発生）、
「実施された手指衛生行動」は1、「遵守率」は100%となる。

4. 5つの瞬間別の遵守率算出

どの瞬間の手指衛生が遵守できていないのかがわかり、介入のポイントが明確になる。

年 月 日	病棟	観察者	p	
職種/名前 医師 機会 1 手指衛生の5つの瞬間 <input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	職種/名前 看護師 機会 1 手指衛生の5つの瞬間 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	実施状況 <input type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input checked="" type="checkbox"/> 未実施 <input type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋着	実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋着	
必要な機会数* 手指衛生行動数 計算式 遵守率	必要な機会数* 手指衛生行動数 計算式 遵守率	必要な機会数* 手指衛生行動数 計算式 遵守率	必要な機会数* 手指衛生行動数 計算式 遵守率	
1の瞬間	1	1	$1/1 \times 100$	100%
2の瞬間	2	1	$1/2 \times 100$	50%
3の瞬間	1	0	$0/1 \times 100$	0%
4の瞬間	2	1	$1/2 \times 100$	50%
5の瞬間	0	0	-	-

*5つの瞬間別のチェック数

この場合は、2の瞬間の「手指衛生が必要な機会」が2（医師1、看護師1）、
「実施された手指衛生行動」は1（医師0、看護師1）、「遵守率」は50%となる。

※ 複数の職種、複数の瞬間の同時発生の集計

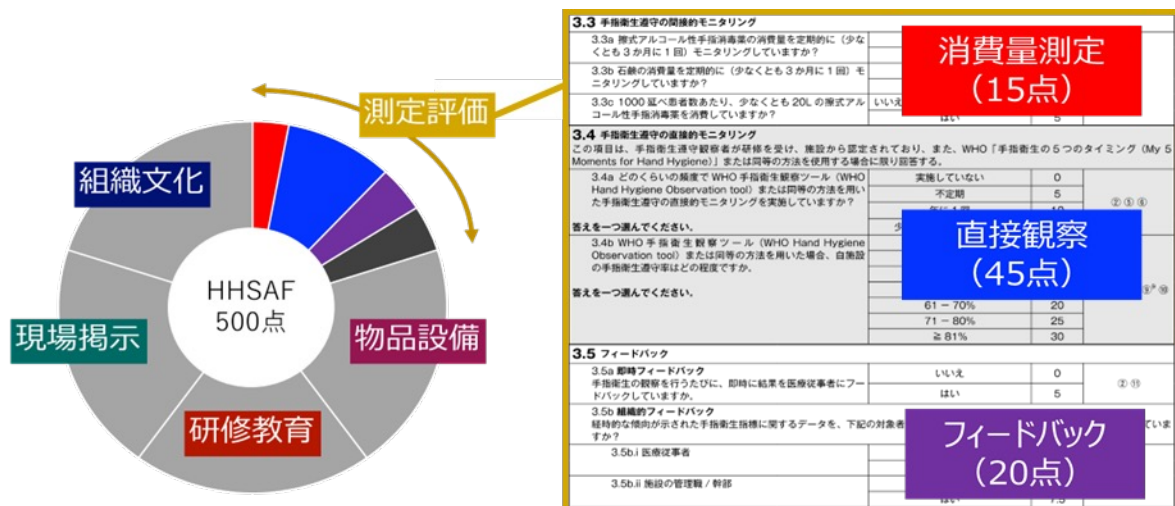
職種/名前 医師 機会 1 手指衛生の5つの瞬間 <input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋着	職種/名前 看護師 機会 1 手指衛生の5つの瞬間 <input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋着
職種/名前 医師 機会 2 手指衛生の5つの瞬間 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	実施状況 <input type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input checked="" type="checkbox"/> 未実施 <input type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋着	職種/名前 看護師 機会 2 手指衛生の5つの瞬間 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input checked="" type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋着
職種/名前 医師 機会 3 手指衛生の5つの瞬間 <input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	実施状況 <input type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input checked="" type="checkbox"/> 未実施 <input type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋着	職種/名前 看護師 機会 3 手指衛生の5つの瞬間 <input type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	実施状況 <input type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input type="checkbox"/> 未実施 <input checked="" type="checkbox"/> この時 <input type="checkbox"/> 手袋着
職種/名前 医師 機会 4 手指衛生の5つの瞬間 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	実施状況 <input type="checkbox"/> 手指消毒 <input checked="" type="checkbox"/> 手洗い <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋着	職種/名前 看護師 機会 4 手指衛生の5つの瞬間 <input checked="" type="checkbox"/> 1. 患者に触れる前 <input type="checkbox"/> 2. 清潔/無菌操作の前 <input type="checkbox"/> 3. 体液曝露リスクの後 <input type="checkbox"/> 4. 患者に触れた後 <input type="checkbox"/> 5. 患者周囲環境に触れた後	実施状況 <input checked="" type="checkbox"/> 手指消毒 <input type="checkbox"/> 手洗い <input type="checkbox"/> 未実施 <input type="radio"/> この時 <input type="radio"/> 手袋着

	必要な機会数	手指衛生行動数	計算式	遵守率
医師	4	2	$2/4 \times 100$	50%
看護師	4	3	$3/4 \times 100$	75%
全体	8	5	$5/8 \times 100$	62%

	必要な機会数*	手指衛生行動数	計算式	遵守率
1の瞬間	4	3	$3/4 \times 100$	75%
2の瞬間	2	2	$2/2 \times 100$	100%
3の瞬間	2	1	$1/2 \times 100$	50%
4の瞬間	3	2	$2/3 \times 100$	66%
5の瞬間	1	0	$0/1 \times 100$	0%

3-4 フィードバック方法

手指衛生遵守のモニタリングは、WHO手指衛生多角的戦略の5つの要素の一つ「測定評価」に位置づけられている。測定評価100点満点中、フィードバックは20点と高配点であり、直接観察と併せて実施することが望まれる。



手指衛生自己評価フレームワーク (HHSAF) 2010

即時フィードバック：1回の直接観察セッション終了直後に、観察者がその現場スタッフに直接、気づいた点を伝える。

組織的フィードバック：直接観察による遵守率調査等の定量評価について、数値の推移などを定期的にリンクナース会や院内感染対策委員会、幹部会議等でフィードバックする。

直接観察の即時フィードバックって、チェックをつけ終わったら、その場で集計して「何パーセントでした」って伝えるってことだよな？計算するのも大変だけど…

紙ベースで記録していたら、それは大変だよ。即時フィードバックで大事なものは、すぐに数字を返すことより、実際にその場で観察できた具体的な状況について「その部署の手指衛生の伸びしろ」とか「何が正しい実践の妨げになっているのか」を現場の職員と共有することなんだよ。

次のページに即時フィードバックの例を載せておくから、参考にしてみてね。遅くとも翌日には現場に返したいね。



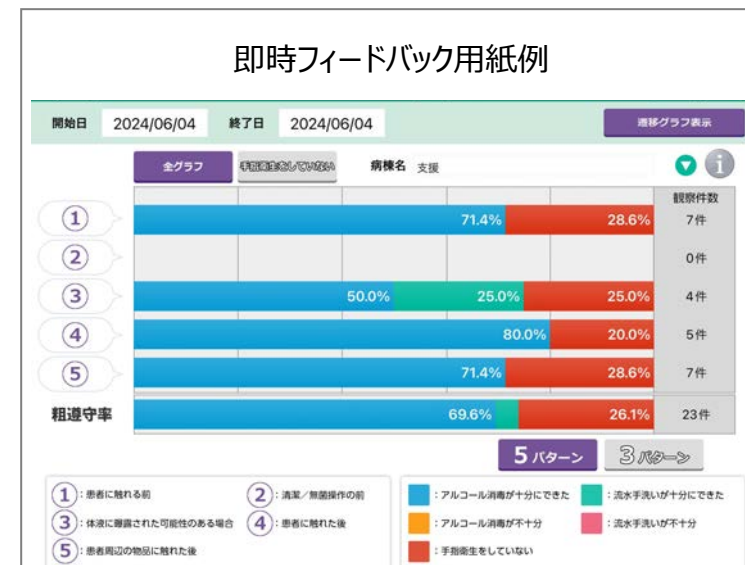
即時フィードバックの例

※電子機器を用いる場合

自動集計結果 →

だけでなく

フリーコメント ↓
も記載する



できていたこと

気になったこと

基本事項の確認とそれを根拠とした解決案の提案

大部屋の中で1人の患者さんから別の患者さんのゾーンに移るときなども含めて、基本的な場面については、比較的よくできていました。しかし、手袋や目の防護具、などが絡んでくる場面、具体的には「手袋を装着したままで病室を出て廊下を歩き患者ゾーン外のものに触れる」「手指消毒して廊下を歩いていったものの、その後目の防護具を頭から下ろして目にかけて、そのまま手指衛生せずに手袋を装着する」といった場面で「未実施」となるパターンが目立ちました。

- 手袋は体液曝露の可能性がある、もしくは接触予防策が必要な耐性菌の存在、といった場合に装着しているハズです。このため「手袋をしている」という状況は「危険な微生物の拡散リスクが高い」という意識を忘れずに、可能な限り直ぐに外して手指衛生を実施することが重要です！「手袋をしたまま廊下を歩いている」のは「危険な微生物を手につけたまま手指衛生をしていない」と理解し、全員で認識を共有し、お互いに声かけをお願いします。
- 1の瞬間「患者に触れる前の手指衛生」は、基本は「患者さんに触れる直前」です。患者ゾーン内のものに触れてから患者に触れる際には改めて手指衛生は必要ありませんが、手指衛生後に患者ゾーン外のものに触れた場合は、再度「1の瞬間」の手指衛生をやり直す必要があります。

大部屋の中で1人の患者さんから別の患者さんのゾーンに移るときなども含めて、基本的な場面については、比較的よくできていました。しかし、手袋や目の防護具、などが絡んでくる場面、具体的には「手袋を装着したままで病室を出て廊下を歩き患者ゾーン外のものに触れる」「手指消毒して廊下を歩いていったものの、その後目の防護具を頭から下ろして目にかけて、そのまま手指衛生せずに手袋を装着する」といった場面で「未実施」となるパターンが目立ちました。

- 手袋は体液曝露の可能性がある、もしくは接触予防策が必要な耐性菌の存在、といった場合に装着しているハズです。このため「手袋をしている」という状況は「危険な微生物の拡散リスクが高い」という意識を忘れずに、可能な限り直ぐに外して手指衛生を実施することが重要です！「手袋をしたまま廊下を歩いている」のは「危険な微生物を手につけたまま手指衛生をしていない」と理解し、全員で認識を共有し、お互いに声かけをお願いします。
- 1の瞬間「患者に触れる前の手指衛生」は、基本は「患者さんに触れる直前」です。患者ゾーン内のものに触れてから患者に触れる際には改めて手指衛生は必要ありませんが、手指衛生後に患者ゾーン外のものに触れた場合は、再度「1の瞬間」の手指衛生をやり直す必要があります。

※紙ベースで記録する場合

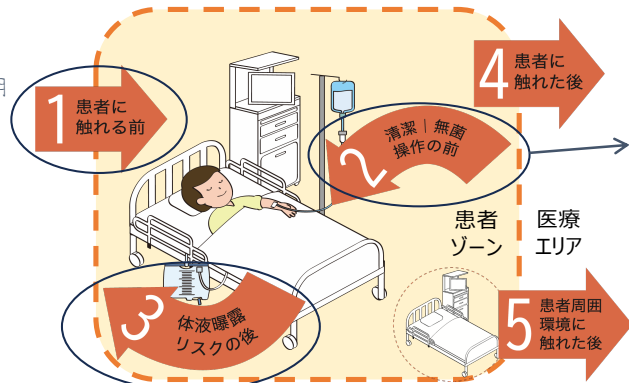
「手指衛生の5つの瞬間」 直接観察報告書

A 病棟 202X年 Y月 Z日 am/pm ICD ○○ 記入
見本例

本日の直接観察の結果、以下の「手指衛生の瞬間」について、改善が必要と思われました。今後、部署全体で改善に取り組んでいただけますよう、よろしくお願いいたします。

手袋装着を「1の瞬間」の手指衛生の代用として「未実施」の人がおられました。

手袋をしていない人や場面では「3の瞬間」はよくできていました。「未実施」(ほとんどの人が)手袋を着けたままあちこち触ったことによるものでした。



WHO手指衛生多角的戦略(2009)「手指衛生の5つの瞬間」より

患者ゾーンから出る時の手指衛生(4の瞬間、5の瞬間)はみなさんよくできていました!

「2の瞬間」は実施のタイミングが早すぎることが多いようです。(特に手袋を使用する時)業務手順の中でお留意をお願いします。

排せつケアの時間帯を観察しました。観察されたことに基づいてから、一気に遵守率が上がる様子が見られ、多くの人が基本事項の理解ができていたと思われました。今後はICTで観察されていなくても実施できるように、日頃からのクロスモニタリングを実施する等、お互いに声をかけあいやすい雰囲気をつくることを検討してください。手袋の使用については理解度に個人差があるようです。「つけっぱなし、つけるのが早すぎ、外すのが遅すぎ」になりがちなので、基本知識だけでなく業務手順の方でも、いつ手袋を着脱するのか、お留意を指導をお願いします。

詳細については、感染対策マニュアル2章、業務手順3章 もご参照ください。
ご不明な点については、お気軽に ICD ○○ (PHS△△△) までお問合せください。

※多角的なフィードバック方法の例

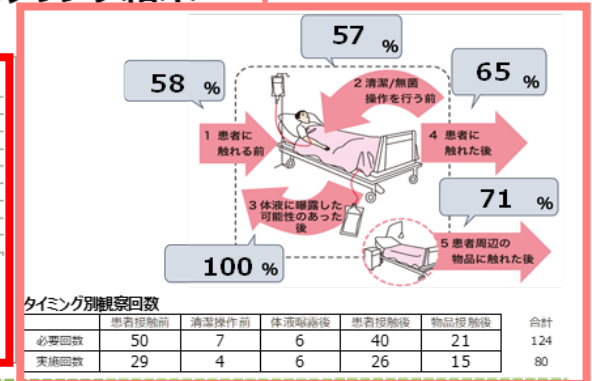
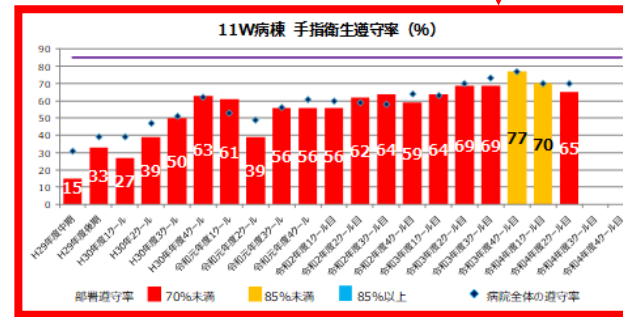
遵守率と赤、オレンジ、青で示し目標達成を可視化

5つの瞬間別遵守率

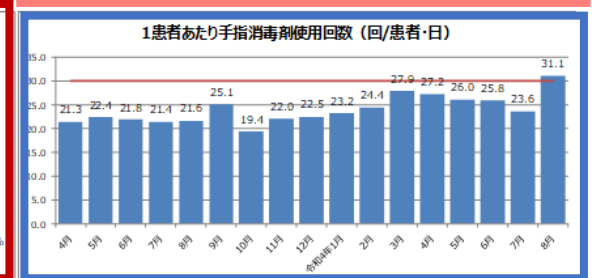
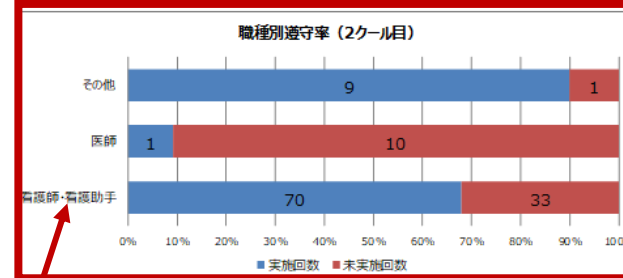
●病棟 ICTによる手指衛生モニタリング結果

2022年9月30日 ICT

■令和4年度 2クール目部署遵守率は65%(80/124)



タイミング別観察回数	患者接触前	清潔操作前	体液曝露後	患者接触後	物品接触後	合計
必要回数	50	7	6	40	21	124
実施回数	29	4	6	26	15	80

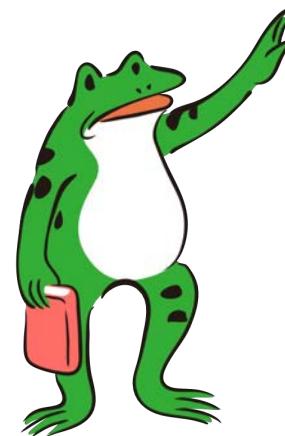


	2022年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2023年1月	2月	3月
中心カテーテル関連血流感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
末梢カテーテル関連血流感染症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
カテーテル関連尿路感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

職種別遵守率を出し多職種を巻き込む

その部署で発生している医療器具関連感染症の発生件数を共有

リンクナースがまとめた消費量データも遵守率と合わせて表示



こうやって、各種フィードバック結果を工夫して、まとめて現場で掲示すると、この部署で何が問題なのか可視化できるし、現場のみんなのやる気につながるね！ウサギさんもマネしてみる？

なるほど！ウサギもこれではあるかも！

